



シンガポール事務所

フィリピン JET の同窓会組織「JETAA」が発足

11月23日、フィリピンのマニラ市内において、フィリピン JET プログラム参加者（以下「JET」という。）の帰国報告会が開催されました。在フィリピン日本国大使館公使、当協会の議部参与をはじめ、高等教育委員会委員長などのフィリピン政府関係者や日系機関の方々が集まり、同年に帰国した4名のJETを歓迎しました。報告会では2名の帰国者が、日本での学校生活の様子や日本で出会った人々について話しました。

同日、帰国報告会の前に、JET 帰国者の同窓会組織である JET Alumni Association (JETAA)、のフィリピン支部の設立総会が開催されました。同年9月に JETAA 支部が設立されたインドネシアに次ぎ、世界で55番目の JETAA 支部となります。会長には、カルロ・マラシガンさんが選出され、今年帰国した4名と以前の帰国者2名を合わせて6名でのスタートとなりました。会長のマラシガンさんは JETAA 設立に当たっての挨拶で、「帰国したフィリピン JET の活動拠点として、フィリピンと日本とをつなぐ架け橋となる活動をしていきたい」と宣言しました。

フィリピンにおける JET の任用は2014年以降本格的に始まり、現在は88名のJETが日本で活躍しています。今後、参加者と帰国者は増えていくことが見込まれ、JETAA フィリピン支部は、新しく日本に旅立つJETのサポートや、帰国者同士の交流を促進し、将来的には日本の文化や地域を発信していく活動を予定しています。

今後、JETAA フィリピン支部がフィリピンにおけるJETプログラムを支援し、日本とフィリピンの交流がさらに深まることが期待されます。



JETAA フィリピン支部設立記念レセプションの様子



設立総会で挨拶をする会長のマラシガンさん



パリ事務所

リヨンで開催された「Japan Touch」に出展しました

クレアパリ事務所は、11月17日と18日の2日間、リヨンで開催された日本のポップカルチャーの見本市「第20回 Japan Touch」にブースを出展しました。リヨンはパリ、マルセイユに次ぐフランス第3位の人口規模を持つ都市で、例年2万人規模の来場者を誇る Japan Touch はパリで実施される Japan EXPO の地方版ともいえる見本市で、会場にはコスプレをしたフランス人が大勢訪れました。『manga』という言葉がそのままフランス語になっているほど、日本の漫画が年月を経てフランスに浸透しているのを実感しました。ブースでは、2019年日本で開催されるラグビーワールドカップのプロモーションビデオをはじめ、自治体から提供されたPRビデオなどを放映するとともに、共同出展していた地元旅行代理店と連携し、日本文化を愛する幅広い世代のフランス人に地方の魅力を発信しました。来場者からは、おすすめの季節や旅行先、リヨンから日本に行く場合のフライトや、「日本人に英語が通じるか」などの質問が多く寄せられました。準備していた日本各地をPRするパンフレットは全て手に取られたことから、日本の地方都市に対する関心の高さがうかがえました。今後も引き続き、フランスの地方での自治体の観光PRなどについて支援してまいります。



多くの来場者で熱気に包まれた会場



コスプレ姿で質問をする来場者



シドニー事務所

佐賀県江北町、オーストラリアで学校交流を開始！

2018年11月23日から29日にかけて、佐賀県江北町の山田町長と江北町立江北中学校の生徒の皆さん計18名が、学校交流のため、南オーストラリア州ビクターハーバー市のエンカウンター・ルーサラン・カレッジを訪問しました。今回の訪問は、2017年、江北町からオーストラリアとの学校交流を行いたいとの相談があり、クレアがその実現を支援し学校交流が開始されたことにより、実施されたものです。今回の訪問中、生徒たちは、現地での授業への参加やホームステイを通じて、海外の文化や学校生活を体験し、とても貴重な経験を得ました。

2019年2月には、クレアが主催する海外自治体幹部交流セミナーに参加するオーストラリアおよびニュージーランドの自治体職員などが江北町を訪問し、日本の地方行政を学ぶ予定です。このようにオセアニアの学校や自治体職員などとの交流に積極的に取り組む江北町の交流活動を、クレアシドニー事務所は引き続き支援していきます。



授業風景（国語）



授業風景（美術）



ソウル事務所

「第12回日韓消防行政セミナー」が世宗特別自治市で開催

11月13日、世宗特別自治市において「第12回日韓消防行政セミナー」が開催されました。本セミナーは日本の消防庁と韓国の消防庁が持ち回りで実施しており、今年は韓国世宗特別自治市の政府世宗コンベンションセンターでの開催となりました。

日韓消防行政セミナーは、日韓両国の消防職員間の定期的な交流・協力の機会として、2002年から実施しています。今年はソウル市立大学都市防災安全研究所のユン・ミョンオ所長による「第4次産業革命と消防の未来」をテーマとした講演の後、「超高齢化社会に対応する消防サービス 火災予防制度の充実・強化」「大規模災害の事例と対応政策」について、日韓の消防庁がそれぞれ発表を行いました。質疑応答・討論の中では、両国の消防組織や制度、消防活動の具体的な内容などに関して、活発な議論が交わされました。

またセミナー翌日の14日には、日本の消防庁職員がソウル市内の超高層建築物の安全施設の視察や、関係機関への訪問を行い、韓国における消防・防災の考え方について直に触れる貴重な機会となりました。



「第12回日韓消防行政セミナー」の様子



北京事務所

海南省海口市の旅行博に出展しました！

11月23日から25日にかけて、海南省海口市で開催された「海南世界休閒旅遊博覧会」に、13の自治体と共同で出展しました。海口市のある海南島は九州の9割程度の大きさで、2017年末現在で約926万人が暮らしており、地理的に東南アジアに近く、日本からも香港や広州を経由して訪れることができる中国有数のリゾート地です。

中国各地や東南アジア各国のブース・商品の出展が多い中、日本からの出展は注目を集め、各自治体のパンフレットやPRグッズは早々になくなりました。来場者の中には、観光地への行き方や旅行ルートについて熱心に質問される方もいました。

クレア北京事務所は今後も各自治体と連携し、中国各地で開催される旅行博覧会に積極的に出展していきます。

※共同出展自治体：山形県、チーム昇龍道（石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県）、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、大阪市、熊本県



来場者でにぎわうクレアブース前



共同出展自治体と一緒に日本をPR



ニューヨーク事務所

州政府協議会全国会議でレセプションを開催

12月6日から8日にかけて、ケンタッキー州コビントンで州政府協議会(CSG)全国会議が開催されました。CSGは、全米の州議会議員や州政府高官がメンバーとして所属し、各州の政策立案の支援などを行う超党派の組織です。今回の会議では、州間協定や隣国カナダとの連携などをテーマに講演やパネルディスカッションが行われ、参加者らは州の垣根を越えて事例や知見を共有し、交流を深めました。

当事務所では、州議会議員などを招いて「Japan Night」と称したレセプションを開催し、クレアおよび事務所の活動のPRを行いました。



事務所主催レセプションの様子

横浜市米州事務所が活動を開始＝ニューヨーク

横浜市がニューヨークに米州事務所を開設し、11月から活動を開始しました。活動開始に併せ同事務所が開催した経済セミナーでは、林琢己横浜市経済局長が市の魅力についてプレゼンテーションを行いました。同市は人口に占める専門職・技術職者数の割合が日本一であることや、その利点を生かして、イノベーションを起こしていくためにさまざまなプロジェクトに取り組んでいることについて説明がありました。今後、横浜市では同事務所の活動を通じ、ITやライフサイエンス関連企業などを誘致していく考えです。



ロンドン事務所

Hyper Japan Winter で地域の魅力やラグビーワールドカップをPR！

11月16日から18日の3日間、日本食や伝統文化、音楽、ファッション、アニメや漫画といったポップカルチャーなどを幅広く網羅するロンドン最大級の日本文化発信イベント「Hyper Japan Winter」が開催されました。2018年で15回目となる当該イベントには、約200の企業・団体・個人が参加、約4万人が来場しました。目玉イベントとして行われた「Pride of Japan」エリアでは、一点物の陶器や古酒などが出品され、特に貴重な品物はオークションで落札されるなど、日本の優れた物産品に大きな注目が集まりました。また、17日には、ラグビーイングランド代表と日本代表の試合のパブリックビューイングがあり、会場は盛り上がりを見せていました。

当事務所もブースを出展し、日本各地の観光や物産のPRを行いました。また、ラグビーワールドカップ2019日本大会を見据えた開催都市のPRにも力を入れました。アンケートを実施したところ、回答者の約3分の1がラグビーやワールドカップ日本大会に関心を持っているという結果となり、大会の認知度向上を感じる一方で、引き続きPRしていく必要性を感じました。



パブリックビューイングの様子



クレアブースでのPRの様子



交流親善課

国際交流事業（姉妹都市交流事業等）に関する調査を実施しました！

クレアでは、自治体などが国際交流事業を実施するうえで参考としていただくため、毎年度、国際交流に関する取り組みを調査し、HP上で紹介しています。

今年度は8～9月に各支部を通じて全ての自治体を対象に調査を行い、1,223自治体に回答いただきました。

姉妹提携に基づく交流事業をみると、2018年3月31日現在で海外の自治体と姉妹（友好）都市提携を締結しているのは875自治体1,725件で、そのうち552の自治体と海外55の国・地域における877自治体との間で、2,055件が実施されました。

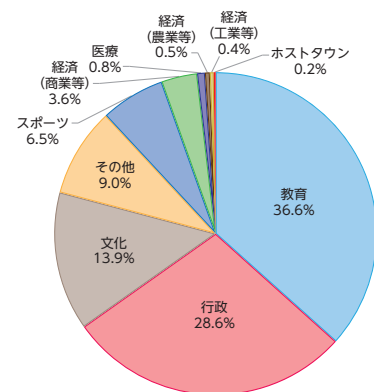
交流事業の分野別にみると、教育分野（753件）が最も多く、次いで行政分野（587件）、文化分野（286件）の順となっています。

また、国別の交流事業件数に着目すると、アメリカ合衆国（498件）が最も多く、次いで中国（460件）、韓国（284件）、オーストラリア（141件）の順となっています。

各自治体の取組概要は以下のクレアHPに掲載していますので、ぜひ参考にしてください。より活発な交流につなげていただければと思います。

■姉妹（友好）都市提携に基づく交流事業：<http://www.clair.or.jp/j/exchange/jirei/page-1.html>

■その他の交流事業：<http://www.clair.or.jp/j/exchange/jirei/page-2.html>



平成29年度分野別交流事業件数割合（姉妹提携に基づく交流）

経済交流課

第3回海外経済セミナー「MICE」を開催します！

平成30年度第3回海外経済セミナーを開催します。

今年度3回目のセミナーは、「MICE」をテーマに、MICE誘致の具体的な手法・利用について自治体・企業をそれぞれの立場・視点から情報提供をするほか、海外からも講師を招へいし、海外の事例についても紹介します。

皆様奮ってご参加ください！

日時：2019年2月22日（金）13：00～16：45（予定）

セミナー終了後、懇親会も予定しております（参加費無料）。

場所：都道府県会館402会議室

対象者：自治体、観光協会や地域コンベンションビューローなどの関連団体職員（定員80名程度）

申込方法：HPの申込みフォームよりお申し込みください。

(<http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>)

※講演内容などについて、詳しくはHPをご覧ください。

■お問い合わせ 交流支援部 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



第2回海外経済セミナー（大阪開催）の様子

多文化共生課

地域国際化協会職員国内研修会を開催しました

12月3日、4日の2日間、国際交流協会のファンドレイジング（資金調達）をテーマに地域国際化協会職員国内研修会（管理者向け）を開催しました。両日とも、全国から17名が参加し、1日目は組織基盤強化やファンドレイジング支援、プロジェクト運営・協働コーディネートなどに取り組まれている河合将生講師をお招きして、ファンドレイジングの基礎的なポイントを学習しました。2日目は、具体例な事例としてクラウドファンディング、収益事業、寄付事業などについて、公益財団法人京都府国際交流協会、公益財団法人箕面市国際交流協会、特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会東京おもちゃ美術館の方から発表があり、各事業についての事例分析を行いました。その後、少人数のグループに分かれてワークショップを行い、それぞれの協会であればどのような事業が考えられるのか、また、どのような点が弱み（課題）であり、強み（魅力）なのかをSWOT分析や参加者同士で話し合い、今後の協会運営のヒントとしていたようでした。



JET プログラム事業部

「CIR 中間研修」と新規事業「非英語圏キャリアビジョン形成セミナー」を開催！

国際交流員（CIR）および日本人担当者を対象としたCIR中間研修を11月26日から28日午前にかけて開催しました。全体会では「2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた地方自治体やCIRに対する期待」をテーマとし、分科会ではメンタルヘルスや予算と事業の基礎知識、元CIRによる講座など新しい内容を盛り込みました。本研修で学んだことやCIR同士の横のつながりを今後の職務や国際交流活動に生かし活躍してもらうことを期待しています。

続いて11月28日午後には、非英語圏出身のJET参加者を対象として「キャリアビジョン形成セミナー」を今年度初めて開催しました。キャリアコンサルタントによる基調講演やパネルディスカッション、企業との交流会を実施しました。パネルディスカッションでは、職歴も国籍もさまざまな元JET参加者からの具体的なアドバイスに、参加者は熱心に聴き入っていました。交流会は和やかな雰囲気で行われ、参加者は企業の担当者に積極的に質問するなど、会場は大いに盛り上がっていました。

クレアでは、参加者の皆さんが自分のキャリアビジョンを描きながら、JETプログラム参加期間をより充実させ、希望のキャリアを実現できるよう、引き続きサポートしていきます。



活発な意見交換をする参加者（CIR中間研修）



自身のキャリアを語る元JET参加者（キャリアビジョン形成セミナー）